

令和3年度 就労支援センターワークかすみ 事業報告

《コンセプト》 かつやく よろこび
「活躍する喜び」 ～一人ひとりのステージに向き合う～

1、重点の目標と課題

(1) (多機能型事業所として)

- ① 新型コロナウイルス感染症予防対策の継続ならびに強化に関する対応 (利用者・職員・外来者等)
- ② 栄養バランスの整った食事の提供体制の見直し (外部業者との委託契約締結)
- ③ 安全な業務遂行のため、備品設備等の定期メンテナンスと計画的な備品の入替え
(4WD 送迎車の購入の検討)
- ④ 土曜 (半日勤務) のあり方を検討

(2) (就労移行支援事業)

- ① 新規利用者の利用促進 (就労アセスメント評価の活用及び相談・就労支援機関との連携強化)
- ② 一般就労後の職場定着に向けた支援
- ③ 個人や社会の多様性に対応した就労支援

(3) (就労継続支援B型事業)

- ① 安定した作業の供給と工賃の支給 (目標月額平均工賃: 32,000 円以上)
- ② 1人1人の障害特性や能力に合わせ、働き続ける為に必要な支援の実施
- ③ やりがい、生きがいにつながる生産活動 (受託・自主製品) の実施
- ④ 利用者の高齢化、障害の重度化に応じた対応

(1) (多機能型事業所として)

- ① 新型コロナウイルス感染症予防対策の継続ならびに強化に関する対応 (利用者・職員・外来者等)
 - 法人本部からの通知に合せて、適宜に保護者に対して利用者への注意喚起、協力事項を記載した通知を配布した。また、玄関に非接触式体温計・消毒ディスペンサーを設置 (保護者会寄贈) し、通所・昼食後の検温、外来者の検温消毒に対応した。
- ② 栄養バランスの整った食事の提供体制の見直し
 - 令和3年4月より、ランチサービスと昼食弁当の委託契約を締結した。また、その弁当が苦手な利用者には、個別で別メニュー (依頼業者は同じ) を準備し、できる限り嗜好に合わせた食事提供に努めた。
- ③ 安全な業務遂行のため、備品設備等の定期メンテナンスと計画的な備品の入替え
 - 11月末 送迎車 (トヨタハイエース 4WD 10人乗) を購入 (きずなの会: 150万円助成) し、4WD、ドライブレコーダー、衝突軽減装置などの装備により、送迎時の安全性をより高める事ができた。

④ 土曜（半日勤務）のあり方を検討

- コロナ禍で様々な制限はあったが、感染リスクを減らす対応をしながら、色々な行事、外出を企画し実施した。（別表参照）
- 利用者一人ひとりの夢、希望、目標を再確認する事を目的とし、作業（仕事）をする意味、仕事をする上でのルールやマナーなどについて、グループワークを実施しところ、様々な意見が挙がり、今後の働く意欲や、次のステージをめざすきっかけに繋がった。

(2) (就労移行支援事業)

① 新規利用者の利用促進

- 基幹相談支援（就労支援）に新規利用者の情報など、連携を密にとっている。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月初契約者数 | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 月内新規 | 1 | | | 2 | | | | | | | | |
| 月内解除 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 備考 | | | | | | ※ | | | | | | |

※…3年目延長期間満了（本人希望により、当事業所B型に移行）

② 一般就労後の職場定着に向けた支援

- 安定した職場定着に向け、障害者トライアル雇用を経て常用雇用となる流れを基本とした支援を継続している。
(障害者トライアル雇用期間には、日報の記入、毎週の計画更新と企業訪問など、利用者と企業の間での調整役として、3ヶ月間支援が行われる：移行準備支援)
- その他、昨年度までに一般就労した利用者や、離職後の再就職へ向けた支援（電話連絡、相談、企業訪問など）を行った。

③ 個人や社会の多様性に対応した就労支援

- 坂井地区就労支援部会（当事業所は事務局）では、定期的な事務局ミーティングを実施しているが、一昨年度まで実施してきた、「就労を応援するセミナー」や、「企業との情報交換会」などは、コロナ禍で実施できなかった。
- 生活困窮者自立支援事業利用者の体験受入れを行った。（2名）

(3) (就労継続支援B型事業)

① 安定した作業の供給と工賃の支給（目標月額平均工賃：32,000円以上）

② 1人1人の障害特性や能力に合わせ、働き続ける為に必要な支援の実施

- 企業との連絡調整を密に行い作業が滞ることなく、安定した作業の確保ができた。また自主製品では、新商品の開発（新柄の越前和紙ステーションナリーグッズや、フクシヨン【紙版喫茶シリーズ】）やプリント事業の受注増等により、利用者のできる仕事が増えた事で、活躍できるステージが広がった。それらに伴い、受託、自主製品共に増収となった。

目標平均工賃：36,404 円/月

③ やりがい、生きがいにつながる生産活動（受託・自主製品）の実施

- 8 月～1 月 フクシオン（福井県の事業）：新商品開発プロジェクトに応募し、経営コンサルタント、商品開発アドバイザーの派遣を受けて新商品が完成【紙版喫茶（福井県の特産品をモデルとした版面を押したハガキ、便箋）】
- 3 月 新たな作業（井上金庫株式会社 [オフィス機器資材の梱包]）の作業を受託

④ 利用者の高齢化、障がい特性に応じた対応

- 昨年度に特別支援学校卒業生 3 名の利用や、本年度も 1 名の 10 代の利用者が増えている。当利用者は、他法人生活介護事業所を併用しており、保護者をはじめ、相談支援専門員や、生活介護事業所と毎月担当者会議を実施し、安定した利用に繋がるチーム支援を実施している。
上記の様に、利用者ニーズに合わせ、個々の体力や年齢、作業能力や理解力も違い、個々の障害特性に応じた支援が求められてきている。（多様性への対応）

(4) その他

- ・所内の虐待防止・権利擁護マネージャーが中心となり、虐待防止セルフチェックを実施し、その結果を職員間で共有した。
- ・坂井地区障がい児者総合支援協議会（就労支援部会 就労アセスメントチーム）に参画し、坂井地区就労アセスメントマニュアル（第 3 版）の発行に向けた検討を重ね、令和 4 年度より施行されている。

以上